



地域支援コラム

【1 学期の巡回相談について】

小学5年生の時から平野支援学校の巡回相談を活用しているA中学校1年男子について、中学校入学後も継続して巡回相談の希望がありました。主訴は音楽の授業でのリコーダーの奏法の支援です。本校リーディングスタッフと音楽科教員で巡回相談を実施しました。本生徒は、左手の指に障がいがあるために、アルトリコーダー（通常型）のO・1・2・3の指は通常の逆の右手で押さえるようにアドバイスしました。これにより、ドからソまでの演奏は問題なく行えました。今後、音の範囲が広がって左手が必要となります。そのときの工夫の一つとして、ストラップを使ってアルトリコーダーを支え、左手で穴を押さえるようにアドバイスを行いました。

B中学校1年生女子の巡回相談の主訴は、プール入水時の指導方法や配慮点についてでした。プール入水に先立って当該生徒の心身の状態の観察を行い、プール学習の当日は、本校リーディングスタッフが支援学級担任と一緒に入水し、指導支援に関するアドバイスを行いました。初めは水が怖いようで、水しぶきが顔にかかるとう身体に力が入り、膝もやや屈曲していて、伸ばすことが難しかったですが、教員の言葉かけにより徐々にリラックスできるようになりました。仰向けの生徒の頭部と腰を介助する方法をアドバイスし、ゆっくりと進むことで足が水面に浮くようになりました。

慣れてくると水中において、ひざ下を動かすこともできるようになり、プール学習の目標設定も共有することができました。

【生野支援学校との合同巡回相談】

依頼のあった学校が、本校と生野支援学校が担当する地域であったため、生野支援学校と共に合同で巡回相談を行いました。今回の相談は、学習の課題へのアプローチと麻痺のある身体面への自立活動の設定をどのようにすればよいかという内容でした。国語の教科学習では、音読やひらがなカード並べについて、身体面に関しては、粗大運動や階段昇降、学習時の姿勢についてアドバイスをを行いました。

知的発達面と身体面の両方の観点からの相談内容については、2校が合同で対応することも可能です。ご要望がございましたら、ご連絡ください。